

茨城県

株式会社アドバンフォース

福祉との相性の良さから栗の栽培・加工事業を展開

● 参入のきっかけ・目的

- ・ 障がい者の仕事の創出、賃金向上、地域の耕作放棄地解消を目的として、障がい者の作業として相性の良い栗の栽培、加工・販売等に取り組んでいます。

● 参入地域（土地）を選んだ理由

- ・ 笠間市農業公社から複数の農地の紹介を受けたことが参入のきっかけです。
- ・ 笠間市の廃校の利活用の募集に応募し採用されました。現在は、栗ペーストの加工場、喫茶店のほか、地域住民との交流の場として活用しています。

● 主な販路

- ・ 有名ホテルチェーン、パティスリー等と独自に取引を行っています。

● 本業との相乗効果

- ・ 障がい者による栗の栽培、加工・販売等を行うことで、障がい者の仕事の創出、賃金向上に取り組んでいます。

参入のきっかけとなった
農地



カフェで提供している
メニュー



● 自治体等からの支援

- ・ 品目選定や事業計画策定は茨城県農業参入等支援センター、笠間市、笠間地域農業改良普及センター、加工は茨城県農産加工指導センター、販路は茨城県販売流通課の指導・助言、アドバイスを得ています。

● 参入して苦労したこと

- ・ 農業知識が全くないところからのスタートで、最初は見様見真似で栽培技術を学びました。

● 参入した成果

- ・ 尊敬できる農業者に出会うことができました。

● 今後の展望

- ・ 以前、放課後デイサービスで障害児への栗拾い体験、モンブラン作り体験を実施したところ、評判も良かったので、栗の観光農園を検討したい。
- ・ 栗の栽培を通じた農福連携を全国に広げたいと考えています。

● 詳しい情報はこちら（会社HP）

カフェの外観



作業の様子



[私たちの想い | アドバンフォースグループ | ADVANFORCE GROUP](#)

★ 概要 ★

法人設立：2015年（農業事業参入2017年）

栽培作物：栗（加工等含む）、野菜

経営面積：約11ha

職員：11名（うちパート6名）※農業事業